

光

明

妙智寺 寺報 1 2 月 2 4 3 号

生きているうちに

いつも終わりは 突然にやってくる

どんな人にも 当たり前 明日はやってこない

また明日、と言える幸せを また会える幸せを

忘れてはいけない

生きているうちに話すこと 生きているうちに伝えること

日蓮大聖人が仰います 「まず臨終のことを習うて、後に他事を習うべし」と

人はいつ死ぬかは分からない。どんな人も必ずそのときは来る。

あちらに持っていけるものはあるだろうか・・・

こちらに残しておけるものは何が善いだろうか・・・

若きも老いも、愚者も知者も、貧者も富者も、「いま」「ここで」「わたし」が考えるべき

ことであろう・・・そして、いざ行動を。

新年 1月 8日(日) 午後1時

新春大祈禱会／鬼子母神・守護神法楽祭

特別祈禱／星祭・交通安全守り

【おえしき】

11月13日(日)、「おえしき」「発育祈禱会」を厳修致しました。

10寺半からは、宗祖日蓮大聖人・第741遠忌、日像聖人・第681遠忌を行いました。
7名の僧侶とお題目にご縁のある参拝者とともに日蓮聖人、日像聖人を偲びました。



本堂には、檀信徒の方と作ったお花紙の桜を使った万灯、生け花講習の生徒さんの生け花、アレンジ花をお飾りした、お花いっぱい御宝前に、各家にお祀りされている日蓮聖人像をお連れ頂き、一緒にお題目をお唱えしました。



13時から、オリジナルお守り作り。皆さん、それぞれの思いを込めて南無妙法蓮華經の字をなぞり、大切な方へ・自分へのお守りを作っていました。

小さなお子さんも一生懸命でした。
出来あがったお守りを胸に抱き、5名の修法師にご祈禱をして頂き、お守りの開眼をしました。



今年は有名な三六焼きのキッチンカーをお呼びして、名物の焼きたてサラダ焼きを皆様にご供養させて頂きました。



前日当日とお手伝い頂いた方々、ご参拝頂いた方々、大変お疲れさまでした。合掌

生前戒名授与者

S・T 様

S・A 様



おえしき供養

S・Tさん N・Tさん S・Tさん H・Mさん O・Rさん I・Hさん T・Sさん
W・Hさん T・Tさん I・Yさん D・Mさん S・Tさん T・Sさん T・Kさん
D・Tさん T・Mさん Y・Sさん K・Mさん A・Sさん E・Aさん M・Hさん

当日供養者の方々 衷心より御礼申し上げます。合掌

※お綿帽子は毎年新しいものをお被せしましょう。まだの方お声かけ下さい。



新規弟子入りの天童たち

M・Tくん I・Nちゃん K・Rくん K・Rちゃん
K・Rちゃん T・Tくん H・Iちゃん H・Nちゃん
H・Nちゃん M・Kくん

どうか鬼子母神さまの永遠の見守る慈愛をうけて、元気に育ってくださいますように。

★第117回 妙智寺和讃会は

12月25日(日) 午前10時・・・生け花講習
お正月花をします。

※お花の準備がありますので欠席の方は18日までにご連絡下さい。

11月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

11/2 T家 水回りリフォーム祈祷	11/3 S家 車祈祷
11/6 I・E家 一周忌法事・墓地開眼・納骨	11/9 M家 車祈祷
11/13 E家施餓鬼(43・祥月・先月祥月)	11/13 N家施餓鬼(祥月)
11/13 M家施餓鬼(祥月2霊)	11/13 M家施餓鬼(祥月2霊)
11/13 日真聖人37回忌 S・S・住職	11/13 M家施餓鬼(祥月)
11/13 I・S家施餓鬼(先月23)	11/14 K家 本尊・宗祖開眼
11/17 鯖江王山公園内 宗祖像回向	11/18 U・K家 3・37回忌法事
11/19・20 日蓮宗国際課 外国人沙弥研修 講師 於 鎌倉日蓮堂	
11/22 M家 発育祈願	11/24 故 N・A 葬儀
11/26 福井中部和讃振興会 研修会講師	

12月 行事予定

□ 12月 1日（木）午後2時

水子供養会

「いのち」の重みを感じ、自我偈5巻の読誦修行

◎12月 11日（日）午後2時

月施餓鬼・鬼子母神祈禱会

□施餓鬼供養（特別供養・経木塔婆）と

ご祈禱／法話と相談

□来年度の運勢／星廻りを発表

□ 11月 18日（日）午前7時

月例 唱題行・法話会

～お題目を唱え、聞法にて心を洗い、
日常の営みを「整え」ましょう～

□朝参り修行 毎週日曜日 午前7時

報恩法要・大黒祭

大掃除

12月25日（日）
午後1時

今年最後の法要「ありがとう」のお参りと清掃です

公式LINE登録のお願い

このたび、妙智寺の公式LINEを作成しました。
ご案内やご報告、お参りの様子や問い合わせ等、
タイムリーに閲覧できます。
各家のお施主様だけではなく、遠近にいるお子様や
お孫様にも知っていただきたくQRコードから登録
ください
この寺報や各案内書も複写再送が不要になります

